

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	その他/2年次演習2 (Seminar2(2nd year))		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	国際経営を理論とケースで学ぶ～入門		
担当者名 (Instructor)	尾崎 俊哉(OZAKI TOSHIYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GBU2010	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	コンセントレーション: マネジメント領域, コミュニケーション領域		

授業の目標(Course Objectives)

2年次から4年次までを通しての目標は、国際経営を理論とケースで学ぶことで、企業の国際化やビジネスのグローバル化を理解し、それを使って、自ら問題の発見と解決策の立案をできるようになることである。2年次秋学期には、その第一歩となる国際経営の分析枠組みとして、前半で新制度派経済学による国の違いをめぐる理論考察を、後半で同理論による組織の違いをめぐる理論考察を学び、これを実際のケースにあてはめて分析し、企業の直面する課題を理解できるようになるとともに、課題解決に必要な戦略を導けるようになることを目指す。

The goal of the seminar throughout the three years (2nd, 3rd and 4th years) is for students to become competent in discovering and analyzing problems of, and proposing solutions for, firms operating globally by way of studying various theoretical frameworks of international business and applying them to cases. In the fall semester of the 2nd year, students will learn the basics of national differences and their impacts on firms by reading various theoretical papers of institutional and organizational economics and case studies.

授業の内容(Course Contents)

2年次秋学期の演習では、前半で新制度派経済学による国の違いをめぐる理論考察を、後半で同理論による組織の違いをめぐる理論考察を学ぶ。また、これらの理論を使ったケーススタディを行い、理論の理解を深めるとともに、企業が国際経営で直面する課題や、その解決に必要な戦略の導き方についても学ぶ。

The goal of the seminar throughout the three years (2nd, 3rd and 4th years) is for students to become competent in discovering and analyzing problems of, and proposing solutions for, firms operating globally by way of studying various theoretical frameworks of international business and applying them to cases. In the fall semester of the 2nd year, students will learn the basics of national differences and their impacts on firms by reading various theoretical papers of institutional and organizational economics and case studies.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 国際経営とは、国の違いとは
3. 制度アプローチとは、ゲーム理論とは
4. 制度としての国、社会、市場: コースの定理
5. 制度としての国、社会、市場: 静学的成長理論
6. 制度としての国、社会、市場: 動学的成長理論
7. 制度としての国、社会、市場: 制度の成立と国家
8. 制度としての国、社会、市場: ケーススタディ
9. 制度としての企業、組織、市場: 取引費用理論
10. 制度としての企業、組織、市場: エージェンシー理論
11. 制度としての企業、組織、市場: 所有権理論
12. 制度としての企業、組織、市場: ケイパビリティ理論
13. 制度としての国、社会、市場: ケーススタディ
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

リーディングリストに従って、毎週、指定された課題図書を事前によく読み、準備を行ったうえで参加すること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

クラス参加(30%)/中間報告(35%)/期末レポート(35%)

テキスト(Textbooks)

1. 菊澤研宗、2016、『組織の経済学入門』、有斐閣 (ISBN:4641164762)

2. ティモシー・イエガー、2001、『新制度派経済学入門』、東洋経済新報社 (ISBN:4492312889)

参考文献 (Readings)

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

注意事項 (Notice)